

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 担い手の育成 確保

事業名 **次世代農業者支援融資利子補給費補助事業**

[5032]

| | | | | | |
|----|-------|--------|-------|----------|------|
| 部名 | 経済部 | 事業開始年度 | 平成9年度 | 実施計画事業認定 | 対象 |
| 課名 | 農業振興課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|---|
| 対象 | <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>次世代農業者支援融資事業により資金を借り換えた農業継承者</p> |
| 意図 | <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>有利子負担の軽減により 農業継承後の経営発展を支援。</p> |
| 手段 | <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>借入資金に係る利子の一部を助成し負担軽減を図る。</p> |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|-----------------------|----------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度当初 |
| 対象指標1 | 資金を借り換えた農業継承者数 | 人 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 利子補給額 | 千円 | 520 | 440 | 361 | 283 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 利子補給者数 | 人 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 519 | 439 | 361 | 283 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 836 | 830 | 806 | 815 |
| | | | | | | |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 1,355 | 1,269 | 1,167 | 1,098 |

| 費用内訳 | |
|------|-------------------|
| 22年度 | 負担金 補助及び交付金 361千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|--------|--|-------------|--|
| 事業開始背景 | | 事業を取り巻く環境変化 | |
|--------|--|-------------|--|

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
根拠は？

意欲ある若い担い手の経営安定に資するものであります。

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

経営安定化により 担い手の確保につながります。

(3) 計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
根拠は？

借入資金の実質金利の引下げとなるため、農業経営を継承した農家子弟の経営安定が図られます。

(4) 成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

制度終了のため、新規の対象者が発生しないことから、対象者、利子補給額は減少していきます。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
根拠は？

予算については全額道費の事業であります。
 所要時間については、最小限で事務を行っています。